武田さんら、前田さんらに最優秀賞

四国の学生による新規事業の提案コンテスト「第9回キャンパスベンチャーグランプリ（CVG）四国（愛称―キャベツプラン）」の審査会と表彰式が10日、高松市内のホテルで開かれた。今回は11の大学・高等専門学校から64件の応募があり、ビジネス部門最優秀賞には愛媛大学の武田知大さんらの「地域資源を生かしたクリエイティブカフェ事業」、テクノロジー部門最優秀賞には阿南工業高等専門学校の前田飛鳥さんらの「学習型電源タップ『スマップ』」がそれぞれ選ばれた。優秀賞1件、特別賞2件、佳作3件の合わせて8件が表彰され、最優秀賞には賞状と賞金30万円を贈呈。このほかの受賞者にも賞状と賞に応じた賞金が贈られた。

応募プラン総数64件　優秀8件を表彰

今回で9回目を迎えるCVG四国は優れた技術や新事業、新製品などのプランを表彰する取り組み。事業化や開発による起業を目指す学生を応援するとともに、新産業創出や人材育成を目的としている。

主催はCVG四国実行委員会で、四国経済連合会、四国産業人クラブ、日刊工業新聞社が共催している。四国電力が特別協賛し、朝日段ボール、今治造船、技研製作所、四国コカ・コーラボトリング、自然免疫応用技研、タダノ、日本マイクロソフト、ミトラが協賛している。

最終選考となる審査会では、ここまで勝ち残ったプランの新規性やアイデアが、学生らによってプレゼンテーションされた。中には節電対策など最近の世相を反映したものもあった。

表彰式で、ビジネス部門最優秀賞に輝いた武田さんは「一生懸命取り組んだ成果が認められてうれしい、感無量です」と喜びを語った。テクノロジー部門最優秀賞の前田さんは「審査会の当日まで手伝ってくれた仲間がいたからこそ受賞できた、感謝したい」と表彰式会場に駆けつけた仲間に手を振って喜びを分かち合った。

審査委員長の三木啓司産業技術総合研究所四国センター所長は「これからも研究や実験を重ねてほしい。応募を考えている人は特許の面など、知財にも関心をもって取り組んでもらえれば」と話した。

CVG四国は、来年度でいよいよフシ目の開催10回目を迎える。過去の受賞者の中には四国だけでなく、全国規模で事業展開し、活躍する経営者もいる。今回の受賞者もいずれ、そうした時が来るかもしれない。

CVG四国は将来に向けての「登竜門」。日本が元気になり活性化する四国発の新たなアイデア、ベンチャーの創出が待たれるところだ。受賞を機に、新たな起業家が出現することを審査員や関係者一同は願っている。

第9回CVG四国は優秀プラン8件を表彰

ビジネス部門　最優秀賞

四国経済連合会会長賞

愛媛大学

武田 知大さん　天満 裕佳さん

坂本 竜一さん　窪田 萌美さん

グループ代表の武田さん

空き店舗の多い柳井町商店街（松山市）で、地域資源の陶器を使った雑貨制作体験とカフェを掛け合わせた事業を展開する。陶器に身近に触れてもらいながら、自然のぬくもりある材料とともに雑貨をつくり、商店街の経済循環の活発化による地域再生を目指す。

2011年4月に地域活性化団体「PIPE（パイプ）」を設立した。当初は公園などでの単発イベントをしていたが持続性がなかった。空き店舗で売り手のいなくなった陶器の委託販売の活動を始めたが集客率・売り上げが伸びず、その解決策として陶器をインテリア雑貨にする体験事業を考案した。

コンセプトは「身近なアート、こころのより場」。お客さまには約50種類ある陶器の中から好きなデザインを選択してもらう。好きな花や木の実を使い、温かみのある仕上がりにする。ゆっくりと体験できるようにドリンクを提供し、カフェ感覚で楽しんでもらう。

10歳代後半から30歳代の女性が利用しやすい事業を展開する。一般に体験教室は、やや高価格帯が多い。体験教室や雑貨屋での価格、利用金額をアンケート調査した上で価格設定し「インテリア雑貨制作体験」を1500円で提供する。学生という立場で事業化し、売り上げを柳井町商店街の地域活性化に向けた活動に利用することで還元し、貢献していく。

地域資源を生かしたクリエイティブカフェ事業

テクノロジー部門　最優秀賞

四国経済産業局長賞

阿南工業高等専門学校

前田 飛鳥さん　河野 愛衣さん

辻 ひかるさん　天狗石 悠斗さん

グループ代表の前田さん

節電意識が高まる中、自動で電化製品の電源を切る学習機能付き節電電源タップ「スマップ」の開発を考案した。一般家庭だけでなく、業務用としても普及させることを視野に入れ、小型化やデザイン、構造上の簡素化と低コスト化を目指す。

身の回りにはテレビ、ポット、炊飯器、エアコン、パソコン、電話機…とさまざまな電気機器がある。スマップを使えば、利用者が使用していない状態かどうか気にする必要なく、自動で電源を切断し、待機電力を減らす。

旅行中や外出中でも使われていないことを学習し、自動切断する点が製品の強みでもある。

まず過去のデータから次の1週間をスケジューリングし、当日のスイッチのオン・オフから日程の変更が可能になるように柔軟に学習する。その週が終われば過去データとして保存し、再度スケジューリングする。タップ口のオン・オフはトランジスタでスイッチングする。その制御はH8マイコンを使う。

市場規模を見ると、電源タップは毎年国内だけで2万個以上売れている。スマップはマイコン内蔵のため、3000円での販売を考えている。機能性をうまくPRし、年間でいくら得になるかを訴え、主婦から工場経営者まで幅広い需要を取り込む。

3年間で国内販売総数の6分の1にあたる1万個の売り上げを目標としている。

学習型電源タップ「スマップ」

ごあいさつ

「キャンパスベンチャーグランプリ四国」は、学生の優れたビジネスプランを表彰し、起業家を目指す学生の支援や、これからの四国を支える人材の育成を目的に取り組んでいるものです。今回で9回目となりますが、これまで四国の学生のプランは、各地区の代表が競い合う全国大会で大賞や特別賞に輝くなど、高く評価されています。

今年度のコンテストにも、若い世代ならではの感性豊かなプランが多く寄せられました。ビジネス部門最優秀賞に選ばれた、雑貨づくりの体験カフェによる商店街のにぎわい創出や、テクノロジー部門最優秀賞の待機電力を自動的にカットする電源タップの開発をはじめ、受賞プランには、いま社会が抱える課題に焦点を当て、新しい発想やツールで地域や産業の活性化に貢献したいという強い思いが感じられます。

挑戦、閉塞感打破の原動力

第9回CVG四国実行委員長　常盤 百樹

産業空洞化や少子高齢化の進行など、わが国が厳しい環境にあるなかで、こうした若者のチャレンジ精神は、社会の閉塞感を打破するエネルギーとなるものであり、大変心強く思っています。

今後、さらなるご努力によって、各プランがビジネスとして花開くことを願うとともに、四国の学生の皆さまが時代のニーズをとらえ、積極的に提案・行動していくことで地域活性化の原動力となってくれることを期待しております。（四国経済連合会会長）

◆ 第9回CVG四国　入賞一覧 ◆

受賞名		学校名と氏名	テーマ
テクノロジー部門最優秀賞 四国経済産業局長賞		阿南工業高等専門学校/前田 飛鳥/河野　愛衣/辻　ひかる/天狗石　悠斗	学習型電源タップ「スマップ」
ビジネス部門最優秀賞 四国経済連合会会長賞		愛媛大学/武田 知大/天満 裕佳/坂本　竜一/窪田 萌美	地域資源を生かしたクリエイティブカフェ事業
優秀賞・中小企業基盤整備機構四国支部長賞		香川高等専門学校/細野 敬太/slamet kristanto tirto utomo/井上 健太/山根 佑樹/清水 健作	農作業支援システム -iFarm-
特別賞	日刊工業新聞社賞	新居浜工業高等専門学校/一柳 あすか/宇田　栞/楠本　翔太	和紙を用いた新規脱臭剤
	四国産業人クラブ賞	新居浜工業高等専門学校/山内 亜美	Nafion膜を用いた過酸化水素ガス電極
佳作		香川大学大学院/平川 裕弥	Social Laboratory networking Service (SLS)
		徳島大学大学院/加門 直洋/滝本　隼主/原　宏輔/高松　朋輝	徳島発！汚泥で解決電力不足！！-再生エネルギーを利用した電気事業
		愛媛大学大学院/櫻田　真士	Wi-Fiを利用した屋内向けロケーションアウェアサービス

優秀賞

中小企業基盤整備機構四国支部長賞

香川高等専門学校

細野 敬太さん　井上 健太さん

山根 佑樹さん　清水 健作さん

slamet kristanto tirto utomoさん

代表の細野さん

日本の農業の高齢化や後継者不足が問題となる中、震災や異常気象の影響で農作物価格も高騰している。そこで、農作業技術の継承を容易にし、価格設定のための原価管理もできる農作業支援システムが必要と考えた。

農作業支援システム ―iFarm―

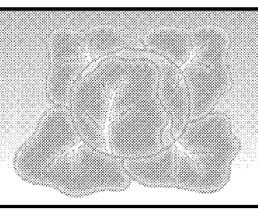
システムのサービス内容は、携帯端末とクラウドコンピューティングの使用を実現した。携帯端末で農場の状態を撮影することで農作業日誌のテンプレートを自動作成し、クラウドサーバに送信する。クラウドサーバでは、送信された農作業日誌を管理し、農作業のタイミングを農業者に自動で通知する。

農業者にとっては月次経営データを把握でき、出荷先や取引先との有利な価格交渉による収益率向上が見込める。農業経営を効率化し、農業全般の安定化につなげる。

ソフトウエアシステムをクラウド型で提供することで農家の利用料金を安価に設定できる。サーバ上には過去のデータも保存されているので、前年比集計などを利用し的確な経営判断が行える。作業予定を自動作成する機能も搭載し、農作業経験が少ない人でも簡単に農作業に従事できる。

ターゲットは、年間売り上げが2000―3000万円以上の国内に約10万戸ある農家が中心。

若い学生の起業に期待!!　CVG四国 キャベツ・プラン



【愛称】キャベツは新鮮さをイメージしています。欧米では赤ちゃんはキャベツから生まれるという言い伝えがあり、孵化（インキュベーション）～ベンチャーの思いを込めています。

四国サイコーダイガク

美味しいモノや素敵なモノ、まだ知らない魅力がたっぷり

四国再発見　四国サイコーダイガク祭 2012

日時 2月25日（土）11:00～18:00

開催場所 高松丸亀町商店街 ドーム広場

地域発の新たな商品・サービスの紹介
屋台による試食・展示即売など
ぜひ遊びに来て下さい!!

四国サイコーダイガクとは、四国の中小企業経営者等が中心となって、四国発の新商品・サービスの開発により新たなビジネスを創出し、四国を元気にしようとする取組みで、中小企業基盤整備機構四国支部（中小機構四国）が運営しています。

四国サイコーダイガク祭では、これまでの活動から生まれた地域発の商品・サービスの展示販売や今年度の開発プロジェクトの発表を行います。また、ミニライブやパフォーマンスもお楽しみいただけます。素晴らしい四国の地域の魅力が集う「四国再発見」に是非お越しください。

プログラム

11:00～　オープニング・主催者挨拶
12:00～　プレゼンテーション
・合同会社四国流通機構
・NPO法人四国スイーツ88推進協議会
・㈱風向
13:30～　平成24年度開発プロジェクト「伊予市・双海プロジェクト」活動成果発表
14:20～　プレゼンテーション
・美波みなとまちづくり協議会
・ホテルサンシャイン徳島
・LLPしまんと
18:00　終了

楽しいイベントやミニライブも!

MC/藤澤　翼【FM香川パーソナリティ】　flower Kei【バルーンアート】　武内貴美子【ヴィオリラ奏者】（11:30～、15:10～）　Yuka&Smiling Wonder（13:00、15:50～）

【出店者】愛媛県伊予市双海地区グリーン・ツーリズム推進協議会、合同会社四国流通機構、NPO法人四国スイーツ88推進協議会、LLPしまんと、株式会社風向、ホテルサンシャイン徳島、美波みなとまちづくり協議会
【主　催】独立行政法人中小企業基盤整備機構四国支部

中小企業と地域振興をもっとサポート　中小機構 四国

お問い合わせ
独立行政法人中小企業基盤整備機構
四国支部 連携推進課
TEL087-823-3220

四国経済連合会は、
活力ある四国の創造に向けて取り組んでいます

四国の魅力情報が満載！

ウェルカム四国　検索

四経連